

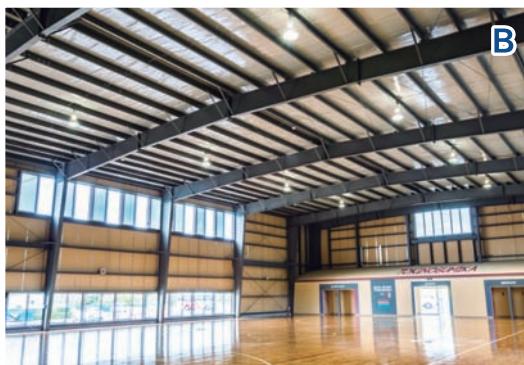


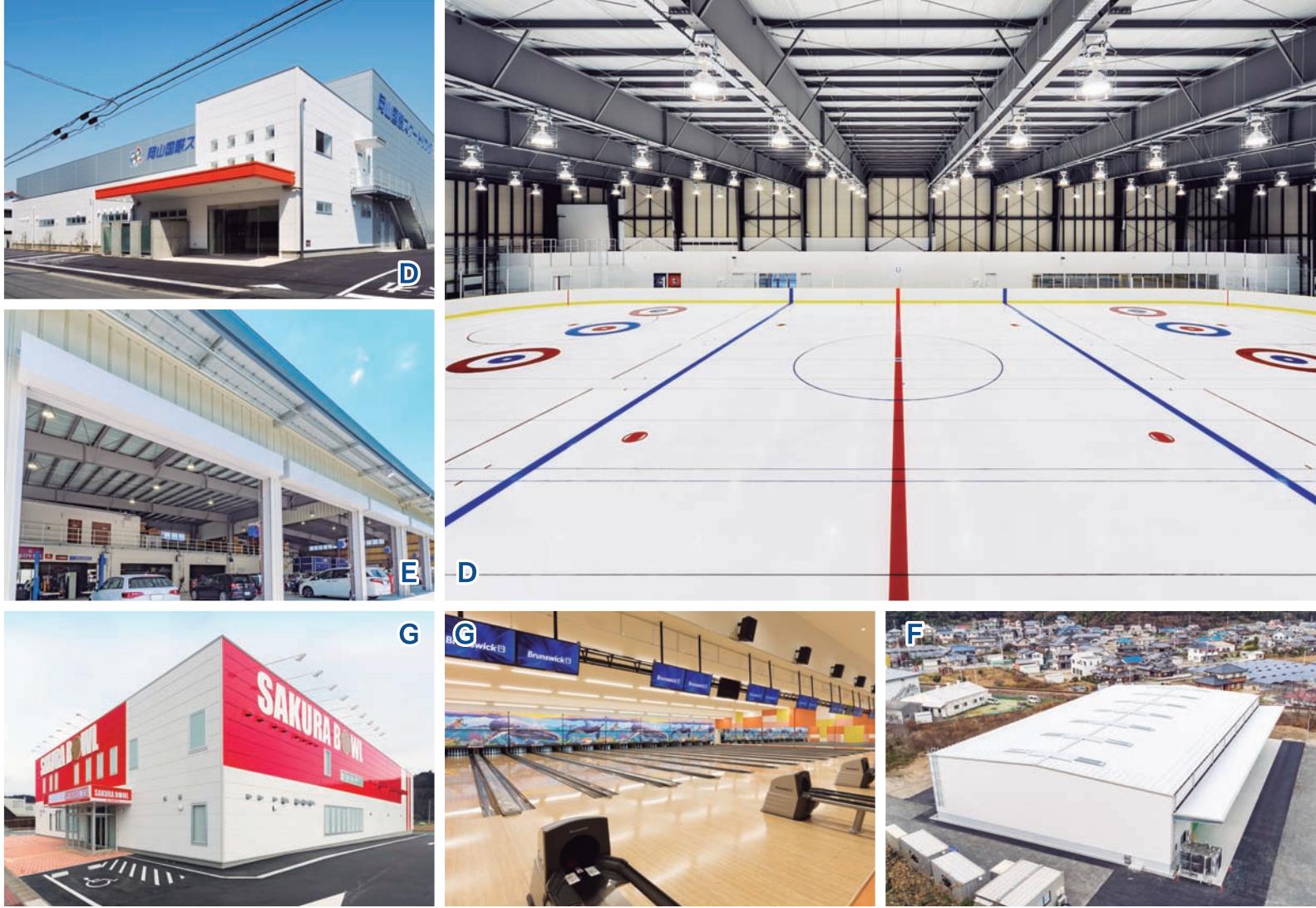
建築市場で進む デファクトスタンダード化 企業はなぜ今 **システム建築**を選ぶのか

景気の回復感が広がる中、企業の設備投資も活発になっている。各地で工場や倉庫などの建設が急ピッチで進む。これらのはか、店舗、スポーツ施設なども含め、さまざまな建物で、「システム建築」が採用される機会が増えている。高品質な建物が短工期、低コストで建てられるとして、施工実績が急増し、デファクトスタンダード（事実上の標準）になりつつあるのだ。中でもシェアを拡大しているのが「yess建築」だ。

制作・東洋経済企画広告制作チーム

BUSINESS
CORE
横河システム建築





(前ページから共通)

- A モリタスポーツ・サービス Well インドアテニススクール住之江校
- B 御殿場高原 時之栖体育館
- C アイススケート整備工場

D 岡山国際スケートリンク

- E 安藤自動車座間工場
- F MORESCO赤穂工場第5倉庫
- G 丸和 気仙沼さくらボウル

「システム建築」に
関心を持つ企業が
全国で増えている

「最近になって、事業主様から直接当社に『物流センターをシステム建築でつくりたい』といったご相談を受ける機会が増えています。施工実績が増えるごとに、お客様の関心が高まっていることを感じます」と話すのは、横河システム建築の大島輝彦社長だ。

同社はシステム建築「yess建築(Yokogawa

Engineered Structure System：イエス建築」を開発・提供している。シス

テム建築は、鉄骨、屋根、外壁、建具などの部材を標準化することにより高品質な建物を短工期、低コストで建築できるのが大きな特長だ。

部材の標準化といつても、設計の自由度は高い。「yess建築」なら1ミリ単位で、ピッチで、スパン、間柱、桁行(建物の長さ)、軒高等などを設定でき、要望に応じてクレーンの設置なども

在来工法とyess建築工法の工期比較 (1,000m²タイプ)

▼在来工法



▼yess建築工法



■ 確認期間 ■ 材料手配 ■ 工場製作 ■ 上屋工事

可能だ。最大60ドルものスパンに対応できるのも「yess建築」の強みだ。

「当社ではなく、部材の標準化だけではなく、営業の見積・積算、生産設計、工場での実際の生産まで、ワンストップで行えるシステムを構築しています。また、千葉県袖ヶ浦市にはシステム建築専用工場を有し、鋼材の調達から設計、加工、



タイアップドアと呼ばれる大型可動扉の施工例。
中型航空機の格納庫といった用途に対応できる

輸送までを一貫して行っています。このため、短工期・低コストが可能になっています」と大島氏は話す。

工場では常時2~3ヶ月分の材料をストックしているため、契約後45~60日で建方を開始できるという。標準的な1000平方メートルの倉庫の場合、確認申請から

上屋工事完了まで在来工法で約190日間かかるケースでも、「yess建築」なら約120日間と70日間も短縮できるというから驚く。

「短工期」「低コスト」「大

s s 建築」は従来、工場や倉庫などでの引き合いが多

かったが、最近では、店舗、ライブシアター、スポーツイベントに使うアリーナなどでも採用事例が増えて

いるという。

「在来工法だけでなく、システム建築ができるのでシステム建築でできるのではないか」と問い合わせをする設計事務所・建設会社、さらには事業主様が増えています。システム建築が『デファクトスタンダード(事実上の標準)』につつある手応えがあります」(大島氏)

待されている。実際、100平方メートルから5万平方メートルクラスの規模に対応できる「yess建築」は、これまで約8300棟の受注実績がある。2017年度の受注面積は90万平方メートルを上回る見込みだ。

「当社はシステム建築業界でトップクラスのシェアだと自負していますが、全國鉄骨造の工場・倉庫・作業所の着工面積に対する割合は現在、6%弱に過ぎません。まだまだ成長の余地は大きいと考えています」と大島氏は語る。

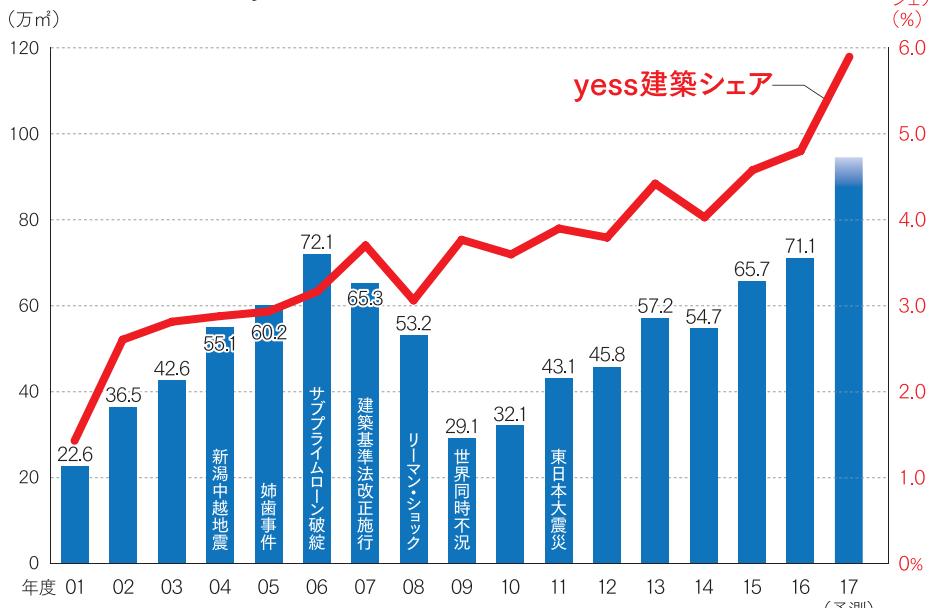
現在、小規模建物向けの既存商品「スペースMAX」「メタルガレージ」の経済性・デザイン性・強靭性を

お客様の事業の広がりに合わせたさまざまな提案も迅速に行えます

横河システム建築 代表取締役社長 大島 輝彦

1981年に横河橋梁製作所(現横河ブリッジ)に入社後、システム建築事業部袖ヶ浦工場長などを経て、02年横河システム建築へ転籍。05年取締役、10年常務取締役、16年6月より現職。東京理科大学卒

yess建築 受注実績とシェアの推移



2017年の受注実績は過去最高となる見込みだ。シェアも確実に上昇している(出所 横河システム建築)

「ビルダー」「エレクター」のネットワークで
きめ細かく対応

システム建築は、建築現場で深刻化する人手不足を解決する選択肢としても期



きめ細かくお応えしていま
す」(大島氏)。



YMA:学校プール可動屋根

現在、ビルダーの数は北海道から沖縄まで全国約1000社。また、同社では全国に100社以上の現場施工会社(鉄骨板金エレクター)網を構築している。

「このようなネットワー
クを活用することで、各地域の企業の固有のニーズに
対応できるだけでなく、お客様の事業の広がりに合わ
せたさまざまな提案も迅速
に行えます」と大島氏は胸
を張る。

同社の技術力を生かした、
付加価値の高い建物も定評
がある。たとえば、「YM

A (Yokogawa Movable
Architecture System : 可
動建築システム)」は、可

動構造を実現する高度な特
殊建築技術で、大規模スタ
ジアムやオールシーズン
プールの開閉屋根で多くの
実績を有している。産業施

設向けに、「yess建築」を
移動上屋としたり、最大幅
48m×高さ16mもの大開口

「yess建築」が設計事
務所や顧客企業から高く評
価されているのにはどうに
理由があるのか。

横河システム建築ではさ
らに、「yess建築」のイ
メージを伝えるために、ド
ローレンによる空撮や360
度パノラマ映像など、最新
の技術を活用した動画や写
真を豊富に掲載したWeb
サイトも用意している。同
サイトは月間で5万アクセ
スもの閲覧があるというか
ら、注目のほどがわかる。

大島氏は、「『yess建
築』を通じて、地域の企業
の競争力向上や地域活性化
のお手伝いをしたいと考え
ています」と語る。これから、

高める開発に取り組んでお
り、来年度にリニューアル
販売を予定している。

今後、システム建築が採
用される機会も増えていく
と考えられる。その中で、
「yess建築」が設計事
務所や顧客企業から高く評
価されているのにはどうに
理由があるのか。

「今年度の見積件数は約
3割増加しています。全国
のビルダーと一緒になり、
質の高い提案ができること
が、当社への引き合いにつ
ながっています」と大島氏
は話す。

それを実現している一つ
が、同社独自の「yess
見積もり3D」システムだろう。
図面や見積書の作成のほか、
建物の完成イメージ図を三

次元ベースで提
案できるもので、
施主企業の要望
に応じて、寸法
や建具配置、色
の変更なども柔
軟にできる。企
業のロゴを入れ
たり、外壁をコ
ボレートカラー
にしたりと、変
更図も簡単に作
成できる。何よ
りも、完成イメ
ージを理解しやす
いことから評価
も高く、受注に
もつながりやすいといつ。

横河システム建築ではさ
らに、「yess建築」のイ
メージを伝えるために、ド
ローレンによる空撮や360
度パノラマ映像など、最新
の技術を活用した動画や写
真を豊富に掲載したWeb
サイトも用意している。同
サイトは月間で5万アクセ
スもの閲覧があるというか
ら、注目のほどがわかる。

施工実績のページでは用途
や地域、キーワードなどに
ニュースにも注目したい。



施主のスムーズな意思決定に貢献する3Dの見積システム。
外壁の色や企業ロゴの有無など、さまざまなパターンを容易に検討できる